

平成30年度 国際関係学部 高大連携出張講義 講義テーマ（国際関係学科）

教員名	講義テーマ	依頼に際しての注意事項
前山 亮吉	政治を比較するとはどういうことか	特になし
	日本政治の歴史を探る	特になし
坂巻 静佳	国際法から世界をみる	国際法という観点から最近のニュースを捉えることを通じて、①国際法とは何か、②どのようにすれば物事を法的に評価できるのかを学んでいきます。これまでとりあげたニュースとしては、尖閣諸島・竹島、日中間の境界画定問題、比中仲裁判断、沖ノ鳥島などがあります。パワーポイントを使用して講義するため、必要な機器類の用意をお願い致します。また、水曜日はお引き受けできません。
宮崎 晋生	身近にある多国籍企業	進路指導や大学・学部紹介の一部ではなく、独立したコマで左記テーマに興味のある高校生向けに講義をすることを希望します。また、パワーポイントを使用しますので、プロジェクターとスクリーンを用意して下さい。
佐藤 真千子	「自由」を追求するアメリカ外交	アメリカが外交理念に掲げる「自由」とは何か、その実現のためにどのようなことが行われているのか、といったことをトランプ政権の外交にも触れつつ講義します。パワーポイントを使用するため、必要な機器の用意をお願いします。水曜日と金曜日はお受けできない日が多いです。
飯野 光浩	高校生のための開発経済学入門―新興・途上国の食糧問題を考える―	進路指導や大学・学部紹介の一部ではなく、独立したコマで左記テーマに興味のある高校生向けに講義をすることを希望します。また、パワーポイントを使用しますので、プロジェクターとスクリーンを用意して下さい。
	高校生のための国際貿易入門―トランプ政権下における貿易について考える―	進路指導や大学・学部紹介の一部ではなく、独立したコマで左記テーマに興味のある高校生向けに講義をすることを希望します。また、パワーポイントを使用しますので、プロジェクターとスクリーンを用意して下さい。
小窪 千早	欧州統合の歴史と現状～EUとは何か、EUの直面する課題～	パワーポイントを使用するので、必要な機器類の準備をお願いします。また、大きめのヨーロッパの地図がもしあれば使用を希望します。進路指導や大学紹介の一部ではなく、独立したコマで左記テーマに興味のある高校生向けの講義をすることを希望します。
森山 優	「国際関係」の前提―近代国家の成立」	特になし
石川 義道	世界貿易機関（WTO）の役割	パワーポイントを使用して講義するため、必要な機器類の用意をお願い致します。
北野 嘉章	国連安保理の意思決定方式と安保理改革	左記のテーマについて講義形式で授業を行います。
	法と道徳―英語で読む法律学入門―	Raymond Wacks著 Law: A Very Short Introduction の第三章 Law and morality を読みます（要予習）。
梅本 哲也	国際政治の現況	特になし
犬塚 協太	男女共同参画社会とは何か	男女共同参画社会とは何か、なぜその実現が必要なのか、性別にとらわれないですべての個人が多様な生き方を認め合う未来を実現するために、高校生は何を学び行動すべきか、といったことを、ジェンダー平等の視点を中心にできるだけわかりやすく伝えます。身近な学校や家族の生活から、将来の仕事、日本や世界の動きまで、どこにウエイトを置いてお話しするかはご相談に応じます。パワーポイントを使用しますので、必要な機器のご用意をお願いします。

渡邊 聡	調査で社会を知ろうとすること	<p>(内容) 社会のさまざまな事柄について調べるために、世の中ではいろいろな調査が実施されています。そして、その結果はテレビや新聞・雑誌あるいはネットなどで紹介されたり利用されたりしています。こうした調査は社会調査と呼ばれますが、社会調査のすべてが適切に実施されているわけではありません。適切に実施されていない調査の結果は信用できないものになります。この授業では、不適切な調査の例をあげながら、社会調査の基本的な考え方について簡単に説明したいと思います。</p> <p>(設備) パワーポイントが利用できる環境。</p> <p>(日程) 10月1日以降の水曜日あるいは金曜日でしたら出講できます。ただし、10月10日(水)、11月21日(水)、1月18日(金)は対応できません。</p>
石井由香	東南アジアの国際労働力移動	<p>東南アジアは人の国際移動に関してさまざまなことを考えさせてくれる地域です。東南アジアには移民労働者の受入国、送出国の両方があります。この講義では、東南アジアが世界の国際労働力移動のなかでどのような位置づけにあるのか、移動の実態はどうか、受入国、送出国がどのような問題に直面し、その問題にどう政策的に、また社会的に対応しようとしているのかをご紹介します。日本においても外国人労働者の受け入れは重要な課題です。日本のこれからを考える上でも、参考になるようなお話をできればと思います。講義時間は50分程度で、パワーポイントを使用予定です。出講が可能なのは、原則として7月、10月～1月の木・金です。</p>
飯野勝己	「言葉の暴力」とは何だろうか	<p>「暴力」の典型はもちろん、殴る蹴る、あるいは戦争などの物理的暴力です。しかしより身近なものとして、「言葉の暴力」があります。手を出すわけでもないのに、なぜ言葉にはそんな力があるのか？ 物理的暴力と共通点はあるのか？ そんな問いについて、コミュニケーション理論や哲学、倫理学の知見から学びつつ、考えてみたいと思います。講義はパワーポイントを使用します。</p>
津富 宏	無縁化する社会の地域づくり	<p>非正規の仕事しかないため多くの若者が結婚できず、一人暮らしのため多くのお年寄りが孤独死する時代になりました。こんな時代を生き抜いていくための地域づくりについて、生徒の皆さんと一緒に考えたいと思います。授業は、ワークショップ形式で行いますので、机と椅子の動く教室が必要です。</p>
	自分のキャリアと社会の未来	<p>本学で担当している、キャリア概論の内容を凝縮してお届けします。働くということを通じて、自分や社会のあり方、そして、大学生活の過ごし方を考えてもらえればと思っています。講義時間は、最低60分です。ワークショップ方式で行いますので、広めの部屋で、机が動かせるほうがいいでしょう。楽しんでください。</p>
高畑 幸	静岡で暮らす「子ども移民」	<p>日本では外国人労働者が増加しています。単身で来日する人もいますが、最近は家族単位での来日も増えています。日本で働く親について来日する「子ども移民」が抱える教育および生活の課題について、お話をします。近年の外国人受け入れ政策に加え、主に静岡県内の事例をご紹介しますながら講義を進めますが、詳細についてはご相談に応じます。講義時間は50分。DVDとパワーポイント使用のためのプロジェクタをご用意ください。(出講は8月、2月、3月以外の月曜日ならば可能です)</p>

平成30年度 国際関係学部 高大連携出張講義 講義テーマ（国際言語文化学科）

教員名	講義テーマ	依頼に際しての注意事項
栗田 和典	<p>絵解きで考える近代史・イギリス史</p> <p>授業の例：細部・構図・文化交流—絵解きから考える広域ヨーロッパの歴史— http://werc.u-shizuoka-ken.ac.jp/EuropeanStudies_texts2017.html</p>	<p>世界史A・Bの教科書に登場する画像をモチーフ、構図、色づかいなどに注目しながら読み解きます。画像を大写しにできるプロジェクタとスクリーンをご用意ください。県内であれば交通費は不要です。</p>
須田 孝司	人間の言語能力	日本語は自然に使えるようになったのに、英語となるとなかなか日本語のようにうまく操りません。それはなぜでしょう。人間の言語能力について考えます。（月曜のみ）
ジョナサン・ ディハーン (Jonathan deHaan)	Using games to improve language, literacy and thinking skills	<p>Students will work (in English) in groups to play, discuss, and redesign a simple board or card game. In these activities, students will practice and learn English vocabulary, reading, writing, speaking and listening skills. Students will learn about the social and historical context of the game, as well as practice critical thinking and creativity skills. A short debriefing and lecture at the end of the class will help students apply the lessons from the game into daily life.</p> <p>(Technology required: projector and screen. Games and other materials will be brought to the lesson.)</p>
寺尾 康	ことばへの気づきと日本語・英語	「ことばを知っていること」と「ことばについて知っていること」は違います。日本語と英語の歌やCM、構文などを題材に、普段何気なく使っていることばの背後にある仕組みやきまりに気づく、という作業を通して、「ことばについて知る」楽しさを感じてもらえたらと思います。
リダン ポール アラン (Paul Alan Lyddon)	Improving English through Pop Songs	<p>This lesson will introduce students to a 7-step self-directed approach to using written lyrics to learn new expressions and improve listening comprehension.</p> <p>(Required technology: projector and screen.)</p>
澤田 敬人	オーストラリアへ渡った日本人	多文化社会におけるジャパニーズを知り、人の国際移動という視点を紹介します。パワーポイントを使用します。

米山 優子	現代イギリス社会の諸相	ニュース映像を通して、現代のイギリスでどのような社会問題が起こり、それに対して人々がどのような反応を示しているのか考察します。DVDプレーヤー、パソコン、プロジェクターを使用します。
鈴木さやか	芭蕉さんのあたらしさ	芭蕉さんの有名な「あの一句」について、どの点が従来の俳諧と異なっていたのかをお話しします。講義中、グループでの話し合いや指名による発言などを行っていただきますので、積極的に参加して下さる生徒さんが望ましいです。パワーポイントを使用するため、プロジェクターとスクリーンの準備をお願いいたします。なお、前期講義中は火・木曜は出講できません。
	絵本で親しむ能「羽衣」	日本が世界に誇る古典芸能「能」。今回は、静岡・三保の松原が舞台となっている能「羽衣」および講師が行っている羽衣普及活動について、県大で作成した絵本を用いてご紹介します。講義中、グループでの話し合いや指名による発言などを行っていただきますので、積極的に参加して下さる生徒さんが望ましいです。パワーポイントを使用するため、プロジェクターとスクリーンの準備をお願いいたします。なお、前期講義中は火・木曜は出講できません。
細川 光洋	小泉八雲—文学としての怪異	焼津ゆかりの文学者小泉八雲(Lafcadio Hearn)の作品をもとに、文学的想像力と「怪異」についてお話しします。作品としては、「焼津にて」「雪おんな」などを取り上げます。講義ではパワーポイントを使用しますが、レジュメで八雲の原文(英文)の一部を配布。これをもとにオリジナルな訳文づくりにも挑戦していただく予定です。八雲の『怪談』が、昔話ではなくなぜ近代文学なのか、講義を通して考えていただけたらと思います。水曜日、木曜日を希望します。
水野 かほる	日本語の特徴 —日本語を外国語として見たら—	日本語と外国語（主に英語）との比較や日本語の学習者の視点から日本語を見ることによって、普段私たちが使っている日本語の特徴を考えてみましょう。ことばと文化、日本語教育に関心のある人対象。木曜は出講できません。
	言葉の壁とコミュニティ通訳	国際化の進展と共に日本を訪問したり日本で暮らす外国人が増加し、それに伴って司法、医療、教育、その他の様々な場面で言葉の問題が浮上しました。そこで言葉の橋渡しをする人たちを「コミュニティ通訳」と言います。講義では、コミュニティ通訳の役割と仕事の特徴、現状などについてお話しします。木曜日は出講できません。

竹部 歩美	源氏物語の世界に触れる	国宝『源氏物語絵巻』の絵と詞書を見ながら、1000年前の日本語と日本文学を考えます。絵の見方を説明した後、それに対応する詞書（くずし字のもの）を見ながら語彙や語法の解説を行います。 ※水曜日は出講できません。木曜日が第一希望です。
吉田 真樹	日本の神と仏	特になし
平山 洋	福沢諭吉の思想を現代にどう生かす か	特になし
小幡 壮	東南アジアの社会と文化	特になし
諏訪 一幸	中国の強さと弱さ	授業日のため火曜日と水曜日は不可。パワーポイントを使用するため、プロジェクターとスクリーン（できればパソコンも）の準備ができる場所。
小針 進	日本と韓国～「眺め合い」の社会学	原則として月曜、火曜、金曜は出講できない(その他にも出講できない特定日があるので要相談)。パワーポイントを使用するためプロジェクターとスクリーンの準備ができること、熱心に聴いてくださる生徒さんがいればどこへも伺います。
奥菌 秀樹	朝鮮半島の南と北―「分断国家」韓国と北朝鮮	月曜日と金曜日を希望。
富澤 かな	「みんなちがって、みんないい」？―多 宗教世界インドから宗教多元論を考える ―	多文化・多宗教の世界インドから、異なる文化や宗教の共存の難しさの可能性について考えます。プロジェクタを使用します。
堀内 賢志	ロシアの政治・社会と日露関係	ロシアは国際政治のニュースにたびたび登場する日本の隣国ですが、欧米と対立することも多く、不可解な国という印象もあるかもしれません。そうしたロシアの政治・社会を解き明かし、日本との関係を考えます。パワーポイントを使用するため、プロジェクターとスクリーンの準備をお願いします。

奈倉 京子	子どもをめぐる中国の社会問題	近年、中国では、一人っ子政策や戸籍制度といった人口政策の改革が実施されました。これにより、社会問題となっていた出稼ぎ労働者の子どもの就学や「留守児童」問題がどのように変化したのか、ということを中心に講義を行います。
下條 尚志	戦争が起こったら人はどう生き残ろうとするのか？—東南アジア、特にベトナムから考える	パワーポイントを使用するので、プロジェクターの準備をお願いします。
小谷 民菜	19世紀ドイツの国民記念碑	パワーポイント使用。
橋川 裕之	民主主義を古代から考える	現代世界に広まっている政治制度は民主主義（デモクラシー）と呼ばれます。よく知られているように、民主主義は古代ギリシャで誕生したものです。ギリシャの民主主義はどのように始まり、どのように終わったのか、現代の民主主義とどんな点で異なるのかを解説します。50～60分程度。DVD・スクリーンも使用します。大学授業期間中は水曜が第一希望です。
	イタリア・ルネサンス—フィレンツェで何が起こったのか？	世界史的にも名高い「ルネサンス」は14世紀から15世紀にかけて、イタリアの都市フィレンツェで始まったとされます。なぜこの時期のフィレンツェで？そもそもルネサンスとは？ヴィジュアル資料を用いて解説します。50～60分程度。PC・スクリーンも使用します。大学授業期間中は水曜日が第一希望です。
林 芳樹	エリートの比較社会学—フランス流エリート養成の功罪—	特になし
剣持 久木	歴史博物館で学ぶ現代史	戦後70年以上が経ち戦争体験者の数が少なくなる中で、歴史を語り伝える役割で注目されているのが、歴史/戦争博物館の役割です。世界各地の博物館の様子を紹介して、現代史をどう語り伝えていけばいいのかを考えていきます。パワーポイントでの講義です。
園田 明人	高校生のための心理学入門：心理学の基礎と、無気力・落ちこみ・適応 の心理	パソコンの画面と音声を出力して使用しますので、プロジェクター、スクリーン、スピーカーの準備をお願いします。
森 直香	文学とアダプテーション、パロディ	DVD、パワーポイント使用。スペイン文学を中心にアダプテーションとパロディについて扱います。
浅間 哲平	文学を科学する	皆さんが親しみをもてるような日本語の教材を使って、文学を研究するとはどのようなことなのかをお話します。例えば、「吾輩は猫である」というとき、なぜ「私」ではなく「吾輩」なのか、説明します。金曜日を希望します。